

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成30年8月23日(2018.8.23)

【公表番号】特表2017-528437(P2017-528437A)

【公表日】平成29年9月28日(2017.9.28)

【年通号数】公開・登録公報2017-037

【出願番号】特願2017-505143(P2017-505143)

【国際特許分類】

C 07 K	14/775	(2006.01)
C 07 K	19/00	(2006.01)
C 07 K	14/47	(2006.01)
C 07 K	16/18	(2006.01)
A 61 P	3/06	(2006.01)
A 61 P	9/00	(2006.01)
A 61 P	19/02	(2006.01)
A 61 P	29/00	(2006.01)
A 61 P	25/28	(2006.01)
A 61 P	3/10	(2006.01)
A 61 P	9/04	(2006.01)
A 61 P	27/02	(2006.01)
A 61 P	37/02	(2006.01)
A 61 K	45/00	(2006.01)
A 61 K	38/16	(2006.01)
A 61 P	43/00	(2006.01)
C 12 P	21/08	(2006.01)

【F I】

C 07 K	14/775	
C 07 K	19/00	Z N A
C 07 K	14/47	
C 07 K	16/18	
A 61 P	3/06	
A 61 P	9/00	
A 61 P	19/02	
A 61 P	29/00	1 0 1
A 61 P	25/28	
A 61 P	3/10	
A 61 P	9/04	
A 61 P	27/02	
A 61 P	37/02	
A 61 K	45/00	
A 61 K	38/16	
A 61 P	43/00	1 1 1
A 61 P	43/00	1 2 1
C 12 P	21/08	

【手続補正書】

【提出日】平成30年7月13日(2018.7.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

アポリポタンパク質(アポE)の受容体結合ドメインと脂質関連ペプチドとを含む合成アポE模倣ペプチドであって、

前記合成アポE模倣ペプチドは、脂肪酸部分、-アミノ脂肪酸部分、またはアセチル化-アミノ脂肪酸部分を含む、前記合成アポE模倣ペプチド。

【請求項2】

前記合成アポE模倣ペプチドが、脂肪酸部分を含む、請求項1に記載のペプチド。

【請求項3】

前記脂肪酸部分が、8~14の炭素原子の長さである、請求項2に記載のペプチド。

【請求項4】

前記脂肪酸部分が、カプリル酸、ペラルゴン酸、カプリン酸、ウンデシル酸、ラウリン酸、トリデシル酸又はミリスチン酸である、請求項3に記載のペプチド。

【請求項5】

前記脂肪酸部分、前記-アミノ脂肪酸部分、または前記アセチル化-アミノ脂肪酸部分が、前記ペプチドのN末端にある、請求項1に記載のペプチド。

【請求項6】

前記脂質関連ペプチドが、クラスAの両親媒性の螺旋ドメインを含む、請求項1に記載のペプチド。

【請求項7】

アポEの前記受容体結合ドメインが、L R K L R K R L L R(配列番号4)、L R R L R R R L L R(配列番号11)、L R K M R K R L M R(配列番号7)、R L T R K R G L K(配列番号13)、L R R M R R R L M R(配列番号621)、またはR L T R R R G K(配列番号622)である、請求項1に記載のペプチド。

【請求項8】

請求項1~7のいずれか1項に記載の合成アポリポタンパク質E模倣ペプチドを含み、且つ薬学上許容可能な担体を含んでいてもよい、医薬組成物。

【請求項9】

L D L及び/又はV L D Lの対象の細胞への結合を高めるため、

対象の細胞によるL D L及び/又はV L D Lの分解を増加させるため、

対象におけるL D L及び/又はV L D Lコレステロールを低下させるため、及び/又は

対象におけるコレステロールの血漿中総濃度を低下させるための、請求項1~7のいずれか1項に記載の合成アポリポタンパク質E模倣ペプチドを含み、且つ薬学上許容可能な担体を含んでいてもよい医薬組成物。

【請求項10】

請求項1~7のいずれか1項に記載の合成アポリポタンパク質E模倣ペプチドを含み、且つ薬学上許容可能な担体を含んでいてもよい、血漿コレステロールを減少させるための医薬組成物。

【請求項11】

請求項1~7のいずれか1項に記載の合成アポリポタンパク質E模倣ペプチドを含み、且つ薬学上許容可能な担体を含んでいてもよい、アテローム性動脈硬化症を治療するための医薬組成物。

【請求項12】

請求項1~7のいずれか1項に記載の合成アポリポタンパク質E模倣ペプチドを含み、且つ薬学上許容可能な担体を含んでいてもよい、脂質障害を治療するための医薬組成物。

【請求項13】

請求項1~7のいずれか1項に記載の合成アポリポタンパク質E模倣ペプチドを含み、

且つ薬学上許容可能な担体を含んでいてもよい医薬組成物であって、

前記合成アポリポタンパク質 E 模倣ペプチドは、少なくとも 1 回の治療サイクル期の間投与され、

前記合成アポリポタンパク質 E 模倣ペプチドは、前記治療サイクル期の後に続く休止期の間は投与されず、且つ

前記合成アポリポタンパク質 E 模倣ペプチドの中止後に治療効果が持続する、前記医薬組成物。

**【請求項 1 4】**

請求項 1 ~ 7 のいずれか 1 項に記載の合成アポリポタンパク質 E 模倣ペプチド含み、且つ薬学上許容可能な担体を含んでいてもよい、急性冠症候群 (A C S) を治療するための医薬組成物であって、

前記合成アポリポタンパク質 E 模倣ペプチドは、少なくとも 1 回の治療サイクル期の間投与され、

前記合成アポリポタンパク質 E 模倣ペプチドは、前記治療サイクル期の後に続く休止期の間は投与されず、且つ

前記合成アポリポタンパク質 E 模倣ペプチドの中止後に治療効果が持続する、前記医薬組成物。

**【請求項 1 5】**

請求項 1 ~ 7 のいずれか 1 項に記載の合成アポリポタンパク質 E 模倣ペプチドに特異的に結合するモノクローナル抗体。